

資料

平成25年度 東京都立高等学校入学者選抜について

○日程

	願書受付日	検査実施日	合格発表日
推 薦	1月24日(木)	1月27日(日)・28日(月)	2月 1日(金)
第一次募集(学力検査)	2月 7日(木)・8日(金)	2月23日(土)	2月28日(木)

○入学者選抜資料の扱いの変更（平成19年度より変更）

1 自己PRカードの改善

- ・点数化せず、選抜資料として総合的に活用する。面接を行う学校においては、面接資料として活用する。
- ・提出方法、様式（平成23年度より変更）

2 調査書の扱いの変更

- ・推薦に基づく選抜において、観点別学習状況の評価と評定のどちらか一方を高等学校が選択し活用する。

○入学者選抜方法の主な変更（平成25年度より変更）

- ・総合成績に占める調査書点の割合の上限を50%とする。
- ・小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の中からいずれか一つ以上を全ての学校で実施する。
- ・個人面接に加え、集団討論を原則として全ての学校で実施する。
- ・対象人員枠の上限を、普通科は20%、専門学科は30%（商業に関する学科は20%）、新しいタイプの高校は30%とする。

★ 葛飾総合高等学校 平成25年度入学者選抜について

- 1 全日制 総合学科
- 2 募集人員 236名（予定） 男女合同定員制

【本校の期待する生徒の姿】

本校は、都内東部にある全日制総合学科高校です。「進取創造」「自主自律」の校訓を掲げ、総合学科の特色を生かしたキャリア教育によって、「進路名門校」を目指します。多様な選択科目から必要な講座を選択し、自分だけの時間割をつくり、希望する進路の実現を図ります。明確な目的意識と、社会のルールを守りそれに基づいて判断し行動する意識をもち、以下の項目のいずれかに該当する生徒を期待します。

- 1 向上心があり、自らの個性や能力の伸長に強い意欲をもっている生徒
- 2 生徒会活動、委員会活動、部活動、学校行事などへ積極的に参加した経験があり、今後の活躍が期待できる生徒
- 3 得意とする教科・科目で優れた能力をもち、今後もその分野へ意欲的に打ち込む生徒
- 4 ボランティア活動、地域活動などへ積極的に取り組み、今後の活動に期待できる生徒

※ 特に推薦選抜においては、中学校における活動が顕著であり、今後も活動が期待できる生徒が望ましい。

※ 「文化・スポーツ等特別推薦」を吹奏楽、女子バレーボールについて実施します。

【第一次募集(学力検査)】 <募集人員 164名>（予定）

学力検査	調査書（教科の評定の扱い）		学力検査：調査書	満点	
教科	国・数・英・社・理	その他の科目		学力検査	調査書
国・数・英・社・理	1倍	1.3倍	6：4	600	400

【推薦に基づく選抜】 <募集人員 72名>（予定）

- 1 調査書は評定を活用します。
- 2 個人面接の時間内でパーソナルプレゼンテーションを実施します。
- 3 集団討論および作文を実施します。
- 4 文化・スポーツ等特別推薦を実施します。
- 5 検査実施日

1月27日（日） 作文および集団討論

文化・スポーツ等特別推薦の面接・実技検査

1月28日（月） 個人面接

願書受付時に集合時刻を指定します。受検生により集合時刻が異なります。

推薦枠	満点			合計点
割合(%)	調査書	集団討論・個人面接	作文	
30	720	540	200	1460

○ 個人面接について

- 1 面接の時間（１０～１５分）内で、約３分間のパーソナルプレゼンテーションを実施します。
- 2 パーソナルプレゼンテーションについて
 - ・ パーソナルプレゼンテーションとは発表等とおして自己の能力や個性を表現することです。
 - ・ 技術が上手か下手を評価するものではありません。いわゆる一芸入試とは異なります。
 - ・ 受検者が必要とするものは、各自で用意して下さい。ただし、黒板と模造紙等を貼るためのマグネットはこちらで用意します。
 - ・ 電源の使用を認めます。事前の練習や更衣の場はありません。
 - ・ 楽器の演奏はできません。
 - ・ 危険を伴うもの、他の受検生に迷惑になるようなものは避けてください。

○ 作文について

- ・ ５０分 ５４０字以上６００字以内
- ・ テーマの例（葛飾総合高校で過去に出題された例）
 - （Ｈ２４）「私の高校生活」キーワード（チャレンジ・興味・系列）
 - （Ｈ２３）「将来の夢に向けて、本校で取り組みたいこと」キーワード（将来・主体的・選択科目）
 - （Ｈ２２）「本校を志望した理由」キーワード（進路・興味・選択科目）
 - （Ｈ２１）「夢の実現」、（Ｈ２０）「高校生活への希望」、（Ｈ１９）「人生のスタート」

○ 集団討論について（予定）

- ・ ３０分程度 受検生１グループ５～６人
- ・ テーマを与え、一人一人自分の考えを述べた後、そのテーマについて討論してもらう形

○ 集団討論・個人面接・作文における「評価の観点」について

集団討論	個人面接	作文
コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力	文章力・構成力
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	主張・意欲
協調性・将来性・リーダーシップ	思考力・判断力・表現力	課題理解力
	協調性・将来性・リーダーシップ	
	出願動機・進路実現に向けた意欲	
	規範意識・生活態度	

○ 文化・スポーツ等特別推薦について

特別推薦枠		満 点				合計点
内容	人数	調査書	個人面接	作文	実技検査	
吹奏楽	男女・３	７２０	３６０	２００	５６０	１８４０
バレーボール	女子・２	７２０	３６０	２００	５６０	１８４０

☆吹奏楽

- (1) 推薦の基準 ～ 以下のすべてに当てはまる者
 - ・吹奏楽を愛好し、集団演奏における協調性を有する者
 - ・中学校吹奏楽コンクールや各種演奏会等の出演経験があり、楽器演奏能力を備えている者
 - ・入学後は本校の指導方針に従うとともに、吹奏楽部に所属し、3年間継続して活動する強い意志のある者
- (2) 調査書、作文については「推薦に基づく選抜」と同じ
- (3) 個人面接については以下の内容を踏まえてのぞんで下さい。
 - ・吹奏楽はチームプレイであり、チームの一員としてどのようにありたいか。自分の意見を持ち、表現できるようになるのが大切です。
 - ・面接は実技検査と一緒にを行います。面接時間は約3分間です。
- (4) 実技検査について
 - ・実技検査は課題曲と1分程度の自由曲を演奏します。
 - ・演奏技術・音楽性を検査します。基礎力重視です。
- (5) その他：
 - ・課題曲は、11月17日（土）に発表します。資料を本校で配付します。
 - ・実技検査で使用する楽器は、受検者が持参してください。
 - ・実績等を証明する書類は、「各種演奏会のパンフレット・賞状等の写し」とします。

☆バレーボール

- (1) 推薦の基準 ～ 以下のすべてに当てはまる者
 - ・中学校で3年間バレーボール部に所属し、活躍した者
 - ・本校バレーボール部に所属し、3年間活動を継続する者
 - ・本校の指導方針に従い、規律正しい学校生活を送るとともに、学業との両立のできる者
- (2) 調査書、作文については「推薦に基づく選抜」と同じ
- (3) 面接について
 - ・パーソナルプレゼンテーションは行いません。
- (4) 実技検査内容
 - ・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、対人レシーブ、サーブ
 - ・スパイク（アタッカー）、トス（セッター）、レシーブ（レシーバー）
- (5) その他：
 - ・実技検査は、バレーボールのできる服装で受検してください。
 - ・実績等を証明する書類は、中学校3年間、バレーボール部に所属したことを中学校長が証明する書類（「文化・スポーツ等特別推薦書」への記載で代えることができる）とします。